

授業改善書

科目名	情報処理(データベース)
担当者	永嶋 浩

授業の概要

Accessを用いたデータベース学習です。15回の講義は基礎学習(Step1)、基礎演習(Step2)、応用課題(Step3)の区分けがあり、Step1は誰もクリアしないといけないレベルと定めた内容で構成してあります。Step3のプログラムに関する命令の詳細については取り上げない方向で進めております。今期は優秀な学生がいたため、応用課題のレベルを一段と引き上げて実施しております。

授業の問題点

今期は落ち着いた雰囲気データベースを実施することのできた環境でした。問題点は以下の通りになります。

1)継続的に出席しない学生が多かった。

4回までの授業で2回以上欠席した学生の62%が出席回数不足でした。

2)USBを当初から持参していなかったり、忘れたまま授業に参加したりした学生がいた。

3)学力の底上げに難があった。

学生のアウトプットは平均で出席が13回、整理テスト1が68点(100/16)、整理テスト2が61点(92/16)、整理テスト3が52点(90/23)、期末テストが54点(96/26)、応用課題が47点(80%のレベルは14名、100%のレベルは5名)であり、一見良いデータに見えますが、今回は優秀な学生が多いためであり、理解不足の学生もいて両極端となっています。

授業改善の課題・方策

1)は5月連休明け後の4回までにきちんとした意識で受講していないと出席と欠席を繰り返す傾向があり、最終的には出席回数不足や途中リタイアとなってしまいます。この件の出席相関係数は0.74です。対策は難しいですが、この授業を本当に受講するのかどうかの意欲に関わってきますので、第一回目授業の時にさらに注意を促したいと考えております。

2)は全学の告知がまだ行き届いていないのか個々の受講態度の問題とかなりますので、これも第一回目授業の時に注意を促したいと考えております。

3)興味と理解の相関係数を求めると0.6の値となります。(興味は4月の時点の意識、理解は15回終了後の意識)

基礎学力の差もありますが、1)や2)の問題も絡んでいるようです。優秀な学生のためにAccessからブラウザを起動して本学HPを見たり、ブラウザ上に成績グラフを描いたりする内容を設けて対処しております。プログラムを行うためのエディタが搭載されていないので優秀ながらも四苦八苦し学生もいました。エディタ位はほしいものです。

コメント:基礎演習まではなんとなく理解、応用は難しかった(もう少しの頑張りが必要かな)

イベントプロシージャが難しかった(この感じでよいのです)

DBの仕組みがわかり自分で動かすのは面白かった(何も言うことのないほど秀でておりました)

簡易でも作れるようになったのは良かった(自前でよくできました)

興味がわいたので独学で学ぼうと思いました(こうゆう感じは大事です)

学んだことを生かして資格や就職にも役立てればと思います(どんどん活用してください)

プログラミングに興味を持ちました。いじるのが楽しかった(いろいろと興味を持ちましょう)

プログラムで意味・動作がわからないままやっていた(それで良く、繰り返しているうちにわかります)

パソコンを使わない方なのでよくわからなかった(4回も欠席してはダメですね)

その他

本講義に関するシラバス原稿の要求はありませんでした。春期定期試験実施調査の件もありませんでした。重要な案件は慎重な取り扱いをお願いいたします。